

## サーキットブレーカ基板(SK\_NRP1\_1A)取扱説明書

この度はサーキットブレーカ基板 SK\_NRP1\_1A (図1) をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

SK\_NRP1\_1A は AC インレットの背部に取り付けるサーキットブレーカセットです。サーキットブレーカには、IDEC NRPF-10 (1A) を使用しています。ヒューズと比べ、劣化による突入電流での誤動作 (遮断) がなく、正確に電流値によって遮断します。音的にも芯のあるクッキリとした音響を再現します。正しく組み立ていただき、末永くお使いください。

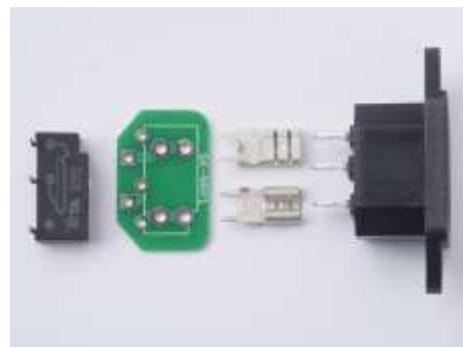


図1 SK\_NRP1 セット

### 組み立て方

図2に示すように、段ボール紙の上に基板を置き、ピンを突き刺して、AC インレットを載せた状態でハンダ付けします (AC インレットを完全に挿入するとピンが暖まりにくくなり、ハンダ付けし難くなります)。基板を裏返してピンをハンダ付けし、余分なピンを切り取ったあと、サーキットブレーカをハンダ付けします。



図2 組み立て方

### 定格電流の決め方

IDEC NRPF-10 は熱動引外し方式 (バイメタル式) であり、ヒューズのように突入電流などによる劣化で生じる誤動作 (遮断) がありません。周囲温度 25°C において、定格電流の 100 % を超えたときにトリップします。定格電流の 300 % では 1~3 秒くらいで、1000 % では 0.1~0.2 秒くらいでトリップしますので、突入電流の大きなマルチトランスアンプでも定常時の消費電流から定格電流を決定すればよいでしょう。

ただし、周囲温度によって定格電流は低下します。40°C では約 85 % に、50°C では約 75 % となります。

定常時消費電流 0.75 A 以下の機器 (半導体 B 級ステレオアンプでは概ね最大出力 28 W+28 W 以下) でご使用ください。これより大きな出力では、2 A あるいはそれ以上の NRPF-10 サーキットブレーカをご使用ください。

### 仕様(NRPF-10 1A)

定格電圧 AC 250 V

定格電流 1 A

使用周囲温度 -10°C~+50°C

### 発売元

海神無線株式会社

〒101-0021 東京都千代田区外神田 1-10-11

東京ラジオデパート 2F

TEL 03-3251-0025 FAX 03-3256-3328

<http://www.kaijin-musen.jp/>